

2017年9月29日

全国のオートボックスグループの売場で10月1日よりスタート
P&G とテラサイクルとオートボックスグループの3社協働による
クルマ用消臭芳香剤パッケージのリサイクルを開始
～反射板キーホルダーにリサイクルして交通安全に寄与します～



株式会社オートボックスセブン（代表取締役 社長執行役員：小林喜夫巳、以下オートボックスセブン）は、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社（代表取締役社長：スタニスラブ・ベセラ、以下P & G）、テラサイクルジャパン合同会社（アジア・リージョナル・マネージャー：エリック・カワバタ、以下テラサイクル）の3社で協働し、日本国内において使用済みのクルマ用消臭芳香剤を回収して新たな製品に再生する「クルマ用消臭芳香剤リサイクルプロジェクト」を10月1日より開始します。

本プロジェクトは、P&G のエアケアブランド「ファブリーズ」とテラサイクルが協働で開発したもので、使用済みのクルマ用消臭芳香剤を一般消費者から回収し、資源として活用、新たなプラスチック製品に再生します。使用済みのクルマ用消臭芳香剤は、日本全国のオートボックスグループ店舗内に回収ボックスを設置し、広く回収を呼びかけます。また、回収した使用済み製品は、交通安全用の反射板キーホルダーにリサイクルされ、本プログラムを通じて、3社に共通する企業理念である持続可能な社会の実現をめざすとともに、交通事故の減少にも貢献してまいります。



ファブリーズイージークリップ

容器包装プラスチックのリサイクル率は44%（※1）にとどまり、真に環境負荷の低減に貢献するためには、単にプラスチックの回収プログラムを展開するだけでなく、より多くの消費者にリサイクル活動に参加いただく必要があります。当社は、プライベートブランド商品のパッケージの削減や車の運転に関わる安全関連商品の販売など、事業を通じた社会貢献活動を積極的に進めています。今回、このプロジェクトにおいて、クルマ用芳香剤を店舗で回収し、反射板にリサイクルすることは、オートボックスグループの環境負荷軽減

（次ページへ続きます）

活動や自動車事故防止活動への取り組みへの推進にもつながると考えました。より多くの使用済みクルマ用芳香剤の回収ができるように努めてまいります。

回収ボックスは、全国のオートボックス・スーパーオートボックスの563店に設置されます。また、回収量、リサイクル率を高めるために、プラスチック製のクルマ用消臭芳香剤であれば、ファブリーズブランド以外の他メーカーの消臭芳香剤も回収の対象とします。

オートボックスグループの店舗で回収された使用済みクルマ用消臭芳香剤はテラサイクルに送られ、洗浄、加工の工程を経て、いったんプラスチック原料（ペレット）に再生された後、「反射板キーホルダー」にリサイクルされます。反射板キーホルダーは、回収拠点となる全国のオートボックスグループ店舗を通じて、地域の小学校や団体へ寄贈される予定です。



回収ボックス設置イメージ

〈回収・リサイクルの流れ〉



2016年の統計によると、交通事故による夜間の死傷者数は、昼間と比べ約3倍（※2）にのぼり、その理由として暗い夜道で歩行者を目視することができなかったことが1つの原因となっています。自動車の運転者から見て、「反射板を着用している歩行者」は「着用していない歩行者」よりも2倍以上手前で発見できることがわかっており（※3）、反射板キーホルダーによる交通事故防止への効果が期待できます。

また、この取り組みについては以下のサイトでも紹介し、本リサイクルプロジェクトの推進を図ります。

PCサイト：<https://www.myrepi.com/tag/myrepi-febreze>

スマートフォン：<http://m.myrepi.com/febreze/recycle/>

今後も「常にお客様に最適なカーライフを提案し、豊かで健全な車社会の創造を使命とする」という当グループの経営理念に基づき、クルマのことなら何でもご相談いただけるグループを目指します。

（次ページへ続きます）

【P & Gについて】

P & Gは、高い信頼と優れた品質の製品ブランドを通じて、世界中の人々の暮らしに触れ、よりよいものにしていきます。日本では、エアケア製品「ファブリーズ」をはじめ、ヘアケアブランド「h & s」「パンテーン」「ヘアレシピ」、衣類用洗剤「アリエール」「ボールド」「さらさ」、柔軟剤「レノア」、台所用洗剤「ジョイ」、紙おむつ「パンパース」、生理用品「ウイスピー」、スキンケア製品「SK-II」、シェーバー「ジレット」「ブラウン」、電動歯ブラシ「ブラウン オーラルB」など、さまざまな製品を提供しています。<http://jp.pg.com>
P & Gの環境サステナビリティの活動に関しては、同社シチズンシップレポートを参照ください。
<http://jp.pg.com/citizenship/index.jsp>

【テラサイクルジャパン合同会社について】

米国 TerraCycle Inc.の日本法人。リサイクルが困難なパッケージなどの廃棄物を世界各国で回収し、さまざまな製品にリサイクルするグローバル企業です。テラサイクルは21カ国で事業を展開し、大手企業やブランドと協働で使用済みのパッケージ等を回収し、原料や製品として再利用しています。廃棄物は回収リサイクルプログラムを通じて、消費者や各種団体、企業などから回収されます。このプログラムでは、協力者からの回収量によってテラサイクルポイントが付与され、そのポイントは学校や慈善事業への寄付金として交換できるシステムを導入しています。日本国内では、吸い殻、使用済みメイクアップ容器、使用済みハブラシを回収し、新たな製品に生まれ変わらせるプログラムを実施しています。www.terracycle.co.jp

参考データ

- ※1 3R推進団体連絡会 容器包装3R推進のための第2次自主行動計画（2011～2015年度）5年間の取り組み成果並びに2015年度フォローアップ報告（P8）プラスチック容器包装のリサイクル目標の達成状況
http://www.3r-suishin.jp/PDF/2016Report/Followup_Report2016_all.pdf
- ※2 警視庁交通局 平成28年度における交通事故の発生状況（P15）「昼夜別・年齢層別・状態別死傷者数」より、昼の全年齢層と夜の全年齢層を比較し算出
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/Pdfdl.do?sinfid=000031559551>
- ※3 公益財団法人交通事故総合分析センター「歩行者用反射材が夜間の歩行者の認知と歩行者事故に及ぼす効果」
<http://www.iatss.or.jp/common/pdf/publication/iatss-review/33-1-16.pdf>

以上

この件に関するお問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771
受付時間：平日9:00～12:00 13:00～17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 小野田（おのだ）、鈴木（すずき）、垣内（かきうち）
〒135-8717 東京都江東区豊洲5-6-52 NBF 豊洲チャンネルフロント
TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762

※ 上記の画像等につきましては、ホームページよりダウンロードできます。URL: <http://www.autobacs.co.jp/ja/news/index.php>